Press Release

NPO 法人　ART BASE 百島
２０２２年5月26日

NPO 法人 ART BASE 百島

乙 1731 -GOEMON HOUSE-

最大級の五右衛門風呂と現代アートが楽しめる「安らげない宿」

NPO 法人 ART BASE 百島（所在地：広島県尾道市百島 1440）は
瀬戸内海中部に浮かぶ芸予諸島のひとつである「百島」でアート作品の展示空間を兼ねた
宿泊施設「乙 1731--GOEMON HOUSE」を２０２２年５月７日よりオープンしました。

http://goemon.artbasemomoshima.jp

乙 1731--GOEMON HOUSE　公式ホームページはこちら

ART BASE
MOMOSHIMA

◆本件のお問い合わせ先
NPO 法人　ART BASE 百島（広報担当：木村、八島、池永）
722-0061 広島県尾道市百島町 1440 Tel/Fax: 0848-73-5105
http://artbasemomoshima.jp/ Mail: info@artbasemomoshima.jp

国内最大級の五右衛門風呂　直径 1.6m　総重量３トン越えの特大五右衛門風呂。一度に４名までご入浴可能です。

「安らげない宿」をテーマに、刺激的な宿泊体験を提供します。

「乙 1731- GOEMON HOUSE」は、百島で長年空き家となっていた日本家屋を３年かけて改修し、安土桃山時代の盗賊である石川五右衛門が釜茹での刑に処された説話のある「五右衛門風呂」を中心に、現代アートと家屋が一体化した宿です。柿渋で染められた暖簾の先には、著名な現代美術家・榎忠、原口典之、柳幸典の３名の強烈な作品が待ち構えています。ダイナミックに改修された古民家で刺激的な作品と共に過ごす一晩は、通常では体験できない特別な時間になります。
そして、この宿の醍醐味である「五右衛門風呂」は、有名な石川五右衛門が釜茹での刑にされた同じ形の特大サイズ。薪をくべて焚く不便さと温かさ、朴訥とした自然環境を肌で感じ、都会とは一線を画す逞しい生活を想起させます。ここでしか味わえない刺激の数々をぜひご堪能ください。

宿泊プラン内容

国内最大級の「五右衛門風呂」にご入浴いただけるプランをご案内しております。本プランでは、当施設が運営する「日章館」「アートベース百島」館内の作品もご覧いただけます。お食事は、石川五右衛門の最期の晩餐をイメージした夕食と翌日の朝食をご用意。瀬戸内海で獲れた魚をメインに、百島産の食材をお楽しみください。

常設展示 作家紹介

三代 歌川豊国作「木下曽我恵砂路」

三代目 歌川豊国（うたがわ とよくに）

三代目 歌川豊国（歌川国貞）は江戸時代の浮世絵師。初代歌川豊国の門人。主な代表作は「東海道五拾三次之内 京 石川五右衛門」「役者見立東海道五十三次の内　坂下土山間　猪の鼻 勘平」「当世三十弐相」など、役者絵、美人画を中心に活躍する。

榎 忠「L.S.D.F 020」

榎 忠（えのき ちゅう）

1944 年香川県善通寺市生まれ。60 年代後半から関西を中心に活動。前衛グループ「JAPAN KOBE ZERO」での活動（1970 ～ 76 年）を経た後、街中での会場探しからはじめ、自ら展覧会全体を作り上げることを行ってきた。型破りなパフォーマンスや銃や大砲などを扱った作品、金属の廃材に新しい生命を吹き込んだ作品など、独自の世界を展開。美術館やギャラリーに限ることなく、現在も神戸を拠点に活動を続けている。

原口 典之「布袋とロープの関係」

原口 典之（はらぐち のりゆき）

1946 年神奈川県生まれ。1974 年には「日本–伝統と現代」展（クンストハレ・デュッセルドルフ）に出品、1977 年ドクメンタ 6 にて《オイル・プール》を発表、代表作として知られる。以後、シドニー・ビエンナーレ（1976 年）、パリ青年ビエンナーレ（1977 年）光州ビエンナーレ（1997、2000）など海外の国際芸術祭等に出品多数。鉄鋼やポリエステルといった工業製品を主に作品の素材とし、物質の存在に向き合う身体のリアリティから出発して場や空間の生成／変容を図ることを特徴としている。

柳 幸典「籠の鳥」

柳 幸典（やなぎ ゆきのり）

1959 年福岡県生まれ。「第 45 回ヴェネチア・ビエンナーレ」（1993 年）のアペルト部門で日本人初の受賞。以後ニューヨークにスタジオを構え、多くの国際展に招待され「ホイットニー・バイアニュアル」（2000 年）では、ニューヨーク在住の作家として外国人で初めて選ばれた。2008 年、岡山県犬島で明治の近代産業遺産と昭和の三島由紀夫のメッセージを融合させた美術館「犬島精錬所美術館」を完成。2012 年、広島県尾道市の離島・百島の中学校廃校を拠点に「ART BASE 百島」を発足。

榎忠「L.S.D.F 020」

石川五右衛門の最後の晩餐をテーマにしたお食事

昔ながらの内風呂もご用意しております。

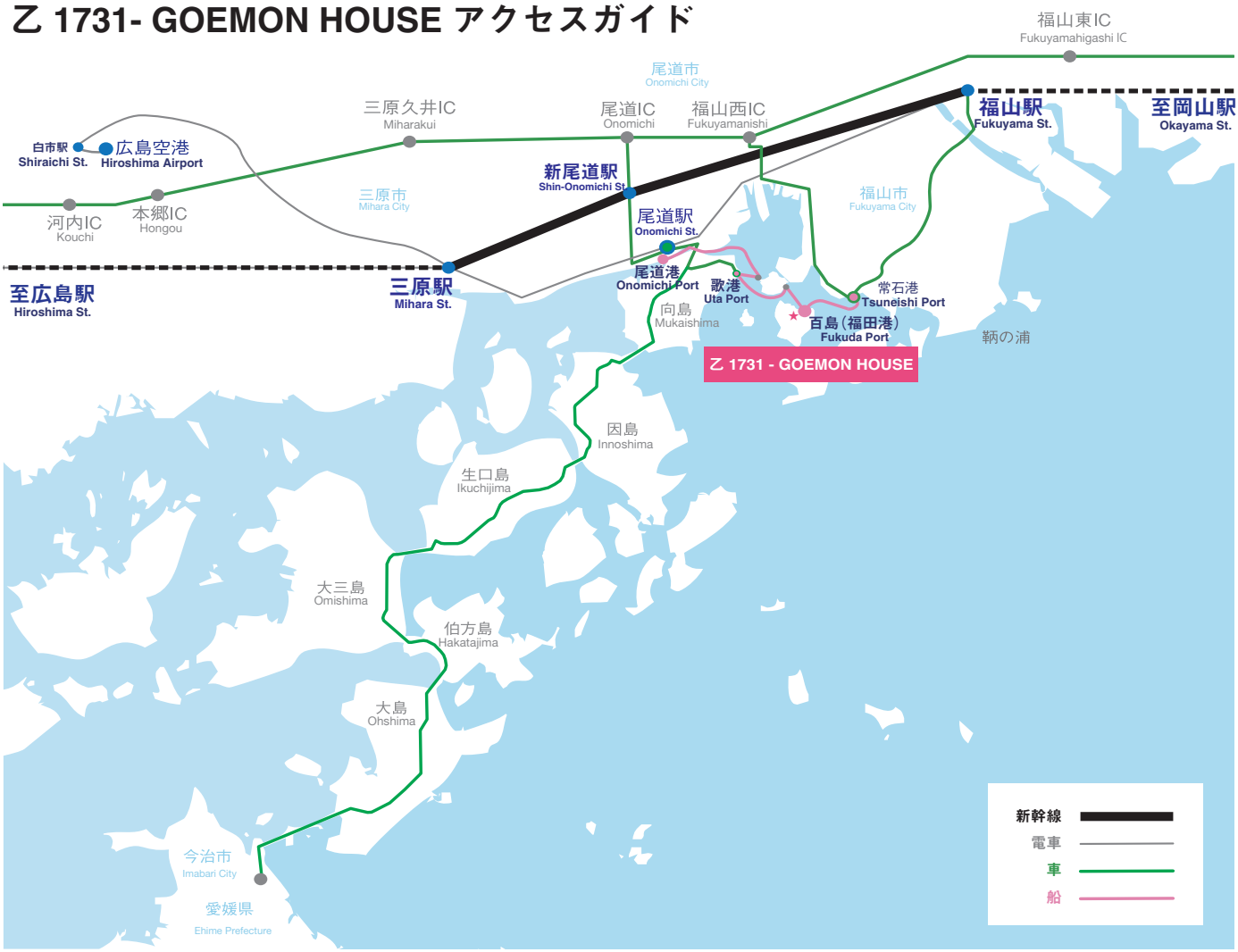
概 要

名　　称	乙1731-GOEMON HOUSE
U　R　L	http://goemon.artbasemomoshima.jp
住　　所	〒722-0061 広島県尾道市百島町１７３１
運営主体	ART BASE 百島
開 業 日	２０２２年５月７日
総客室数	１室（２人から４人まで）
本館規模	２階建
宿泊料金	１人３３,０００円（税込）

宿泊料金は空き家再生や移住者促進などのNPO法人アートベース百島による活動の運営費に充てられます

ART BASE
MOMOSHIMA

乙 1731- GOEMON HOUSE アクセスガイド



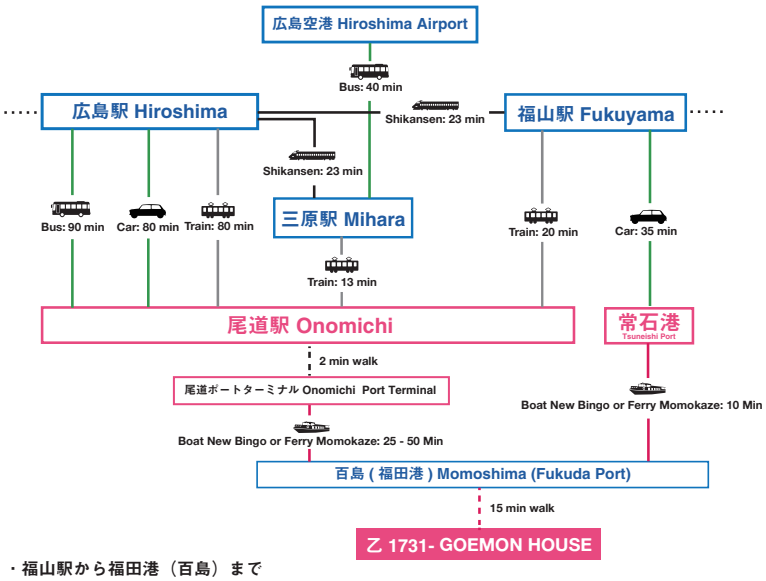
百島（福田港）発着フェリーのご案内

■尾道発時刻表

尾道発	戸崎着	歌着	満越着	福田着	常石着
09:20	>>>	>>>	>>>	09:45	09:54
11:11	11:35	11:39	11:55	12:08	12:19
13:15	13:32	>>>	13:43	13:52	14:01
14:30	>>>	14:54	15:10	15:23	15:34
16:20	16:37	>>>	16:48	16:57	17:06
18:16	18:40	18:44	19:00	19:13	19:24
19:08	19:25	>>>	19:36	19:45	19:54
				20:05	20:14

■常石発時刻表

常石発	福田着	満超着	歌着	戸崎着	尾道着
08:05	08:14	08:24	>>>	08:34	08:51
10:05	10:17	10:29	10:44	>>>	11:08
11:45	11:54	>>>	>>>	>>>	12:19
13:20	13:32	13:44	13:59	14:03	14:27
15:30	15:39	>>>	>>>	>>>	16:04
17:10	17:22	17:34	17:49	>>>	18:13
18:20	18:29	18:39	>>>	18:49	19:06
19:55	20:04				



・福山駅から福田港（百島）まで
JR 山陽本線で尾道駅まで約 20 分、フェリー / 高速船で約 25〜50 分。
車・タクシーで尾道港まで約 30 分、フェリー / 高速船で約 25〜50 分。
車・タクシーで常石港まで約 35 分、フェリー / 高速船で約 10 分。

・広島空港から福田港（百島）まで
バスで三原駅まで約 40 分、JR 山陽本線で尾道駅まで約 10 分、フェリー / 高速船で約 25〜50 分。
車・タクシーで尾道港まで約 40 分、フェリー / 高速船で約 25〜50 分。
車・タクシーで常石港まで約 60 分、フェリー / 高速船で約 10 分。

※高速船「ニュー備後」には車が載せられません。
※常石港、福田港（百島）には無料駐車場があります。

NPO 法人 ART BASE 百島とは

NPO 法人 ART BASE 百島は、現代美術家・柳幸典をディレクターとして 2012 年に広島県尾道市の離島「百島」で閉校となった旧中学校舎を改修し、アートセンターとして開館しました。以後、急激な過疎化と高齢化の進む瀬戸内海の離島で、芸術文化による地域再生の取り組みとして国際的なアーティストによる展覧会やレクチャー、ワークショップなどを毎年開催してきました。

柳 幸典 《ワンダリング・ミッキー》１９９０
提供：NPO 法人 ARTBASE 百島

島の廃屋を再生するアートハウス・プロジェクト「旧百島東映劇場」
現在は「日章館」と名称を改めて、柳幸典の「ヒノマル・イルミネーション」を常設展示
提供：NPO 法人 ARTBASE 百島

百島の旧市役所を再生するアートハウス・プロジェクト「旧百島支所」2階
提供：NPO 法人 ARTBASE 百島

ART BASE
MOMOSHIMA

◆本件のお問い合わせ先
NPO 法人　ART BASE 百島（広報担当：木村、八島、池永）
722-0061 広島県尾道市百島町 1440 Tel/Fax: 0848-73-5105
http://artbasemomoshima.jp/ Mail: info@artbasemomoshima.jp